亞洲歌姬鄧麗君香港演唱會
全部模擬母帶錄音、武沢茂精心刻錄製作的黑膠唱片

1982年鄧麗君29歲時同年的1月，在香港伊莉莎白體育場舉行了首場鄧麗君演唱會，演唱會現場的錄音母帶，這次分兩輯製作了限量版的模擬黑膠唱片。

很早以前開始，熱衷於鄧麗君歌曲的眾多中日音響愛好者，對這有著名氣極大的現場錄音、《stereo sound》雜誌社連續出版的鄧麗君模擬黑膠唱片專輯寄予着很大期待。今年8月，筆者向日本《stereo sound》雜誌社提議希望能找到當年日本錄音公司錄製的演唱會現場模擬錄音母帶。於是雜誌社就著手從日本環球音樂公司進行了查詢，發掘出在非常良好環境條件下保存的當初演唱會現場模擬錄音母帶，從而確定了這二輯模擬黑膠唱片的製作。

這次中文演唱會模擬黑膠唱片編號為第7輯和第8輯，二張專輯中收錄有全部的24首歌曲，與以前寶麗金唱片公司發行的題為"永遠的歌聲～鄧麗君vol.2中文歌曲"CD專輯，所收錄的曲目完全相同，區別在於這次第7輯和第8輯的模擬黑膠唱片，是從發掘出來的原聲母帶中分別進行重新製作。這是在香港鄧麗君第一次正式的現場錄音，由日本指揮家渡邊茂樹擔任樂團指揮，日本伴奏樂團也參加了此次香港演唱會的演出。當時日本寶麗金公司專門派來了混響調音的茂木正三先生擔任了錄音工程師。

這次現場演唱會的模擬黑膠唱片製作，由以日本演歌界代表人物的美空雲雀為首、參與過許多著名歌手的模擬黑膠唱片製作、日本哥倫比亞錄音錄音公司著名的工程師武澤茂先生擔任了模擬黑膠唱片的刻錄製作。武澤先生使用的是經過嚴格調校的studer A80開盤機，重新播放了發掘出來的原聲母盤磁帶，並對聲音進行了調整，在錄音室定制的模擬調音臺上進行了裁剪，利用紐曼VMS70黑膠母盤刻錄機和SX74刻錄唱頭，演唱會頭版漆膠母盤由此而誕生了。唱片發行壓盤的後期製作，材質上使用了日本東洋化成特別為《stereo sound》雜誌社限量版配製的黑膠唱盤，精心壓盤製作而成。

筆者在過去的兩年裡，擔任了由《stereo sound》雜誌社製作的鄧麗君中文模擬黑膠唱片（SSH-001～008）的選曲和構成。到訪日本的時候在武澤先生的錄音室裡，有幸聆聽到鄧麗君模擬錄音母帶的聲音、武澤先生剪裁後的漆膠唱盤的聲音、以及完成壓盤後的黑膠唱片測試盤聲音的監聽。還負責監聽和檢查是否能夠正確聽到漢語演唱時輔音的重要要素。

鄧麗君去世已經25年了，亞洲歌姬鄧麗君內心深處的胸腔演唱其柔軟浪漫的音質，至今仍給聆聽人帶來感動。這場演唱會的現場錄音體現出鄧麗君可愛的人品，以及与與錄音室錄音不同，有著特別的一種魅力感，感受到鄧麗君的呼吸聲、心跳聲融會在一起瞬間最幸福的喜悅感。在演唱會歌曲的曲目之間，她那簡短甜潤的說話聲音也是必需聆聽的。這次奉獻給喜歡鄧麗君演唱會的音響愛好者和粉絲們，期待已久限量版的現場錄音模擬黑膠唱片，相信能帶給您的喜歡。

文：張 國樑
（2020年10月18日 上海）

アジアの歌姫 テレサ・テン 香港ライブ。
全曲アナログ・マスターテープ使用。武沢 茂、入魂のカッティング。

1982年、テレサ・テンが29歳を迎える同年1月、香港のクイーン・エリザベス・スタジアムで行なわれたテレサの名ライブ録音をこの度2タイトルにわたってアナログレコード化することとなりました。

かねてより、テレサを愛する日中のオーディオ愛好家諸兄から、この名ライブ録音のステレオサウンド・アナログレコード・コレクション化への期待が多く寄せられていました。今年8月、筆者は、日本に在るこのライブ録音のマスターテープを是非とも探し出して欲しいとの要望を日本のステレオサウンド社に嘆願しました。これを受け、日本のユニバーサル ミュージックが調査を行なったところ、大変良好なコンディションでマスターテープが保管されていることが判明し、この度の製作が決定いたしました。

この中国語歌唱盤の第7弾と第8弾に収録した全24曲は、かつてポリドールが「永遠の歌声～テレサ・テンvol.2中国語曲のすべて」と題してリリースしたCDアルバムに収録されている楽曲と同じ歌を、発掘されたアナログテープからそれぞれ新たに製作したものです。

テレサの香港における本格的ライブ録音としては初となったこの公演には、日本から渡辺茂樹氏が指揮者として、そして伴奏陣には日本のミュージシャンが参加。録音エンジニアには、当時の日本ポリドールから名ミキサーである茂木正三氏が派遣されました。

今回のレコード製作にあたっては、日本の歌謡界を代表する美空ひばりさんをはじめ、多くの名歌手のアナログレコード製作を手掛けてきた日本コロムビア・スタジオの名カッティングエンジニア武沢茂氏が担当しています。

武沢氏は、厳格なチューニングが施されたスチューダーA80テープレコーダーを使用してアナログ・マスターテープを新たに全曲再生。同スタジオのカスタムメイドによるアナログコンソールでカッティングのためのサウンド調整を施した後、ノイマンのカッティングマシンVMS70とSX74カッターヘッドを駆使してラッカー原盤を作り上げています。

レコードのプレスにあたっては、東洋化成によってステレオサウンド盤仕様に特別調合されたプレス材料を使って入念に仕上げています。筆者は、過去2年間、ステレオサウンドが製作するテレサ・テン中国語歌唱盤（SSCH-001～008）の選曲・構成を担当してきました。訪日の際には、武沢氏のスタジオでテレサのアナログ・マスターテープの音、武沢氏がカッティングしたラッカー盤の音、そして出来上がったテストプレス盤の音を一貫して試聴する機会に恵まれました。本番プレスに入る前のテストプレス盤試聴においては、中国語歌唱が持つ子音の最も重要な要素が 正しく聴こえるかの試聴チェックも担当してきました。

没後25年。アジアの歌姫テレサ・テンが胸板を響かせて歌う、そのしなやかでロマンチックな声質は、今もなお聴く人々に感動を与え続けてくれます。可愛らしくテレサの人柄のよさが滲み出たこのライブ録音には、スタジオ録音とは異なる格別の魅力があります。テレサの鼓動そしてテレサの呼吸と一体になれる瞬間は至福の喜びです。テレサのMCでのお喋りの声質もまた必聴です。

ここにテレサの中国語歌唱を愛聴するオーディオファン待望の限定数量プレスによるライブ録音レコード盤をお届けいたします。

ご愛聴いただければ幸いです。

文：張 國樑
（2020年10月18日 上海）

Teresa Teng Analog Record Collection

Mastering & Cutting Engineer: Shigeru Buzawa (Nippon Columbia)　Mastering & Cutting Studio: Nippon Columbia Minamiazabu Studio
General Producer: Tomoyuki Harada (Stereo Sound)　Supervisor: Zhang Guo Liang
Project Manager: Shinichi Minekawa (Universal Music)　Sales & Promotion: Masaki Kimura (Stereo Sound)　Artwork Design: Minoru Nishimoto
Special Thanks: Teresa Teng Foundation

SSCH-007

Teresa Teng

at Queen Elizabeth Stadium 1982

Side A

1. Opening Theme
   作曲・編曲：渡辺 茂樹
2. 愛像一首歌（北極便）
   訳詞：林 煌坤／作詞：山上 路夫／作曲：三木 たかし／編曲：渡辺 茂樹
3. 千言萬語
   作詞：爾 英／作曲：古 月／編曲：渡辺 茂樹
4. 我怎能離開你（離れられないあなた）
   作詞：瓊 瑤／作曲：古 月／編曲：渡辺 茂樹
5. 路邊野花不要採（道傍の花を摘まないで）
   作詞：林 煌坤／作曲：李 俊雄／編曲：渡辺 茂樹
6. 襟裳岬
   訳詞：莊 奴／作詞：岡本 おさみ／作曲：吉田 拓郎／編曲：渡辺 茂樹

Side B

1. 天涯歌女（地の果ての歌姫）
   作詞：田 漢／作曲：賀 綠汀／編曲：渡辺 茂樹
2. 四季歌（四季の歌）
   作詞：田 漢／作曲：賀 綠汀／編曲：渡辺 茂樹
3. Can't Help Falling In Love With You（好きにならずにいられない）
   作詞・作曲：Weiss-Peretti-Creatore／編曲：渡辺 茂樹
4. 採檳榔（びんろう採り）
   作詞：殷 憶秋／作曲：金 玉谷／編曲：渡辺 茂樹
5. 星（昴～すばる～）
   訳詞：鄭 國江／作詞・作曲：谷村 新司／編曲：渡辺 茂樹
6. 忘記他（彼を忘れて）
   作詞・作曲：黃 沾／編曲：渡辺 茂樹

Side A

愛像一首歌

讓我們肩並肩手把手 在那雲兒夕陽下看晚霞
讓我們肩並肩手把手 在那星河夕陽下采野花
只要和你在一起 我就會心歡喜 你溫柔
你體貼 我要讚美你 風度翩翩 氣質高雅
讓我們肩並肩手把手 到那青青山坡下采野花
讓我們肩並肩手把手 到那海邊懸崖下看浪花
我和你總是有那麼多綿綿的情話
你問我這到底為什麼 就讓我告訴你為什麼
這就是愛 這就是愛 你愛我 我愛你
共用人間這份風雅 愛就像一首歌 一幅畫

我們倆肩並肩手把手 到那青青山坡下采野花
我們倆輕輕地拍著手 醉在淡淡月光下彈吉他
只要和你在一起 我就會心歡喜 你溫柔
你體貼 我要讚美你 風度翩翩 氣質高雅
我們倆肩並肩手把手 在那雲兒夕陽下采野花
我們倆肩並肩手把手 在那星河夕陽下彈吉他
我和你總是有那麼多綿綿的情話
你問我這到底為什麼 就讓我告訴你為什麼
這就是愛 這就是愛 你愛我 我愛你
共用人間這份風雅 愛就像一首歌 一幅畫

千言萬語

不知道為了什麼 憂愁它圍繞著我
我每天都在祈禱 快趕走愛的寂寞
那天起 你對我說 永遠的愛著我
千言和萬語隨浮雲掠過
不知道為了什麼 憂愁它圍繞著我
我每天都在祈禱 快趕走愛的寂寞

我怎能離開你

問彩雲，何處飛 願乘風永追隨
有奇緣，能相聚 死亦無悔
我柔情深似海 你癡心 可問天
誓相守，長繾綣 歲歲年年

我怎能離開你 我怎能將你棄
你常在我心底 信我莫疑
願兩情常相守 在一處永綢繆
除了你還有誰和我為偶

藍色花一叢叢 名叫做勿忘儂
願你手摘一枝，永佩心中
花雖好有時枯 只有愛不能移
我和你共始終信我莫疑

路邊野花不要採

送你送到小村外 有句話兒要交待
雖然已經是百花開 路邊的野花你不要採

記著我的情 記著我的愛
記著有我天天在等待 我在等著你回來
千萬不要把我來忘懷
反復）
千萬不要把我來忘懷
千萬不要把我來忘懷

襟裳岬

北の街ではもう 悲しみを暖炉で
燃やしはじめてるらしい
わけのわからないことで 悩んでいるうち
老いぼれてしまうから
黙りとおした歳月を
ひろい集めて 暖めあおう
襟裳の春は 何もない春です

海邊掀起浪濤 激蕩了我的心 記得就在海邊
我倆留下愛的吻 那樣美又溫馨
如今只有我一個人 默默地在追尋
追尋那段美麗歡樂時光 那段美麗的夢
愛人我的愛 我等你回來訴說情懷

寒い友達が 訪ねてきたよ
遠慮はいらないから 暖まってゆきなよ

Side A

愛は歌のように（北極便）

肩を並べて手をつながせて
あの雲と夕陽の下で夕焼けを見ましょう
肩を並べて手をつながせて
あの天の川と夕陽の下でお花を摘みましょう
ただあなたといるだけで
私はうれしくなるの
あなたはやさしくて思いやりがある
ほめてあげなくちゃ
格好良くて 気質は上品
肩を並べて手をつながせて
あの山の斜面でお花を摘みましょう
肩を並べて手をつながせて
あの雲と夕陽の下で夕焼けを見ましょう
私とあなたはたくさん愛を語る
あなたは私にどうしてと聞く
ではあなたにどうしてか教えてあげる
これが愛よ これが愛
あなたは私を愛し
私はあなたを愛する
この素晴らしさを分かち合い
愛は歌のように絵のように

二人で肩を並べて手をつなぎ
あの山の斜面でお花を摘みましょう
二人で軽く手をたたき
あの雲と夕陽の下でギターを弾きましょう
ただあなたといるだけで
私はうれしくなるの
あなたはやさしくて思いやりがある
ほめてあげなくちゃ
格好良くて 気質は上品
二人で肩を並べて手をつなぎ
あの山の斜面でお花を摘みましょう
二人で肩を並べて手をつなぎ
あの雲と月光の下でギターを弾きましょう
私とあなたはたくさん愛を語る
あなたは私にどうしてと聞く
ではあなたにどうしてか教えてあげる
これが愛よ これが愛
あなたは私を愛し
私はあなたを愛する
この素晴らしさを分かち合い
愛は歌のように絵のように

千言万語

なぜだか分からないけど
私のまわりは悲しみでいっぱい
毎日祈ってる
早く愛の寂しさを追い払ってください
あの日から
永遠に私を愛しているとあなたは言う
たくさんの言葉が浮雲と一緒に
通り過ぎて行ったわ
なぜだか分からないけど
私のまわりは悲しみでいっぱい
毎日祈ってる
早く愛の寂しさを追い払ってください

離れられないあなた

色とりどりの雲
どこへ行くの
風にのってどこまでもついて行きたい
不思議な縁で
出会えるわ
死んでも悔やまない
私のやさしさは海ほどに深いのよ
あなたは夢中になって空に聞くでしょう
誓いを守りあい
いつまでも離れない

どうしてあなたのもとを離れられるの
どうしてあなたを捨てられるの
あなたはいつも私の心にいるわ
信じてね
二人が愛をいつも守っていられるように
いつまでも一緒にいたい
あなた以外にまだ誰かが私のそばにいても

青い花が一面に咲いてる
その名は忘れな草
一枝手折って心にずっとしまっておいて
花は枯れる時が来ても
愛は変わらない
あなた以外にまだ誰かが私のそばにいても

道傍の花を摘まないで

あなたを小さな村のはずれまで送るわ
話したいことがあるの
もう花は咲き乱れているけれど
道端の花は摘らないで
私の愛を忘れないでね
私がいつも待っていることを忘れないでね
あなたの帰りを待っているから
決して私を忘れないで
決して私を忘れないで

襟裳岬

北の街ではもう 悲しみを暖炉で
燃やしはじめているらしい
理由のわからないことで 悩んでいるうち
老いぼれてしまうから
黙りとおした歳月を
ひろい集めて 暖めあおう
襟裳の春は 何もない春です

海岸に大きな波が押し寄せて
私の心を揺さぶった
海辺で二人が残した美しくやさしい口づけを
覚えていますか
今はただひとり黙って
あの頃の楽しかった日々
美しい夢の跡をたどっています
愛しいあなた
私はあなたが帰ってきて
心を打ちあけてくれるのを待っています

寒い友達が 訪ねてきたよ
遠慮はいらないから 暖まってゆきなよ

Side B

天涯歌女

天涯呀海角覓呀覓知音
小妹妹唱歌郎奏琴
郎呀 咱們倆是一條心
哎呀哎呀 郎呀咱們倆是一條心
家山呀北望淚呀淚滿襟
小妹妹想郎直到今 郎呀 患難之交恩愛深
哎呀哎呀
郎呀 患難之交恩愛深
人生呀誰不惜呀惜青春
小妹妹似線郎似對
郎呀 穿在一起不離分
哎呀哎呀郎呀 穿在一起不離分

四季歌

春季到來綠滿窗 大姑娘窗下繡鴛鴦
忽然一陣無情棒 打得鴛鴦各一方
夏季到來綠滿窗 大姑娘漂泊到長江
江南江北風光好 怎比青紗起高粱

秋季到來荷花香 大姑娘夜夜夢家鄉
醒來不見爹娘面 只見窗前明月光

冬季到來雪花茫 寒衣做好送情郎
血肉築成長城長 願做當年小孟薑

Can't Help Falling In Love With You

Wise man said
Only fools rush in
But I can't help falling in love with you
Shall I stay, or would it be a sin
But I can't help falling in love with you

Like a river flows
Surely to the sea
Darling so it goes
Something I've meant to be
Take my hand take my whole life too
For I can't help falling in love with you

採槟榔

高高的樹上結檳榔 誰先爬上誰先嘗
誰先爬上 我替誰先裝
少年郎呀采檳榔 小妹妹提籃拾頭望
低頭又想呀 他又美 他又壯
誰能比他強 趕忙來叫聲我的郎呀
青山高呀 流水長 那太陽已磎
那歸鳥兒在唱 教我倆趕快回家鄉

星

目を閉じて 何も見えず
哀しくて 目を開ければ
荒野に 向かう道より
他に 見えるものはなし
嗚呼 砕け散る 運命の星たちよ
せめて密やかに この身を照らせよ
我は行く 蒼白き頬のままで
我は行く さらば星よ

踏過荊棘 苦中找到安靜
踏過荒郊 我雙腳是泥濘
滿天星光 我不怕狂風
滿心是期望 過黑暗是黎明

啊 星光燦爛 伴我夜行 給我光明
啊 星光引路 風之語 輕輕聽
帶著熱情 我要找理想 理想是和平
尋夢而去 哪怕走崎嶇險徑
反復）
來…… 明日請再來 領路也是星

忘記他

忘記他 等於忘記了一切
等於將方和向拋掉 遺失了自己

忘記他 等於忘盡了歡喜
等於將心靈也鎖住 同苦痛一起
從來只有他 可以令我欣賞自己
更能讓我去用愛
將一切平凡事 變得美麗
忘記他 怎麼忘記得起
銘心刻骨來永久記住
從此永無盡期
反復）

Side B

地の果ての歌姫

天の果て地の果てまで
知人を探し
妹は歌をうたい兄さんは琴を弾く
兄さん 私たちの心は一つ
アイヤアアイョ 兄さん
私たちの心は一つ

北に故郷を望めば
涙が襟を濡らす
妹はずっと兄さんを思い続け
兄さん 苦しみを共にして愛情は深い
アイヤアアイョ 兄さん
苦しみを共にして愛情は深い

人生誰が青春を惜しまないことが
ありましょう
妹が糸ならば兄さんは針のよう
兄さん 一緒に通って離れない
アイヤアアイョ 兄さん
一緒に通って離れない

四季の歌

春が来て緑が窓にいっぱい
上の娘はおしどりの刺繍をする
突然無常な棒が叩いて
おしどりは離れ離れ

夏が来て柳の葉が長くなり
上の娘は長江まで旅をする
長江の北も南も景色が良い
コーリャンよりコーリャン畑の方がいい

秋が来て蓮の花が香る
上の娘は故郷を夢見る
目覚めると父母の顔は見えない
ただベッドの前に月の光が明るい

冬が来て雪が果てしなく降り
冬着が出来て恋人に送る
血と汗で築いた長城は長い
あなたは今年長城使役に行きたがってる

好きにならずにいられない

利口な人は言うわ
愚か者だけが恋に落ちるのだと
それでもあなたを愛さずにはいられないの
そばにいることは罪なの
それでもあなたを愛さずにはいられないの

河がいつか
海へと流れつくように
私たちの運命も
そんなふうに進んでいくのよ
私の手を取ってすべてを受け入れてほしいの
あなたを愛さずにはいられないの

ぴんろう採り

高い木の上にぴんろうの実がなる
誰が先に登って誰が先に噛むのか
誰が先に登って
私は誰の代わりに先に詰めようか
少年たちよ ぴんろうを採ろうよ
少女たちは籠を提げ頭を上げて眺めてる
うつむいて考える
あっ 彼は格好良くてたくましい
彼より強いのなんているのかしら
私の恋人早く来て叫んでよ
青い山は高く
川の流れは長い
太陽はまだ出てる
鳥たちが鳴きながら帰る
私たちも急いで家に帰らなきゃ

鼻 ~すばる~

目を閉じて 何も見えず
哀しくて目を開ければ
荒野に向かう道より
他に見えるものはなし

ああ 砕け散る宿命の星たちよ
せめて密やかに この身を照せよ

我は行く 蒼白き頬のままで
我は行く さらば星よ

いばらを踏んで
苦しみの中に安らぎを探す
荒れ野を踏んで
足はぬかるみにはまる
空いっぱいの星
風をくらうのも怖れない
心は期待に満ちて
暗闇から夜明けへ
ああ 星は輝き
私と共に夜を行き 私に影をつくる
ああ 星が導く
風の言葉がそっと聞こえる
情熱を持って
平和という理想を求めていきたい
夢を探していく
険しい道の何を怖れよう
明日は誰かが歩いていくのだろう
この星に導かれて

彼を忘れて

彼を忘れることは
すべてを忘れてしまうのと同じ
方向を失い自分をなくしてしまうのと同じ
彼を忘れることは
喜びを忘れることと同じ
心を錆でつながれて
苦しみと一緒にいるのと同じ
今まではただ彼がいればそれでよかった
そして愛で平凡なことをすべて
美しく変えることができたわ
彼を忘れること
どうすれば忘れられるの
永遠に心を刻みこんで
これから永遠に